科目ナンバリング	U-LAS05 10001 LJ40						
授業科目名<英訳>	文化人類学Ⅰ Cultural Anthropology I			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 岩谷 彩子		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	地域・文化(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	木3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

文化人類学とは、究極的には自己について、自己が置かれた環境について問い直す学問である。それは他者を「理解」することがはらむ困難に立ち向かい、なおかつその重要性を問いつづけることをも意味する。本講義では、文化人類学の基本的な考え方と諸理論を紹介し、異なる社会環境にある人々の生活実践や思考様式を、自己が身を置く社会の諸問題の延長線上にとらえることを目指す。

[到達目標]

グローバル化の進行とともにますます接触と衝突の機会が増しつつある「異文化」に対して、自分なりの応答の仕方を身につける。

[授業計画と内容]

第1回　文化人類学の方法と課題
第2回　人類の社会性―言語・親族・家族
第3回　人間の多様性―ジェンダーとセクシュアリティ
第4回　文化的他者の問題―植民地主義とポストコロニアリズム
第5回　エスニシティと人種
第6回　政治と社会
第7回　経済と交換
第8回　信仰と世界観
第9回　芸術と遊び
第10回　身体と文化
第11回　生と死―よりよく生きるということ
第12回　グローバリゼーションと文化変容
第13回　メディアとネットワーク化する社会
第14回　環境と人間
≪期末試験≫
第15回　フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

平常点・小レポート（20%）、定期試験（80%）で評価する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
内堀基光・奥野克己 『文化人類学』（放送大学教育振興会）
ゴドリエ、モーリス 『人類学の再構築―人間社会とは何か』（明石書店）

文化人類学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

文化人類学Ⅰ(2)

スペルベル、ダン『人類学とはなにか―その知的枠組みを問う』（紀伊國屋書店）

[授業外学修（予習・復習）等]

授業中に提示された文献については、できるだけ目を通しておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

ディスカッションを促進する目的で、人数制限を実施します。
講義の内容について明確でない点は、授業中・授業後などの機会を利用して、積極的に教員に質問してください。あるいは、個別に教員にメールでお問い合わせください。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部